

その時々学校の状況に合った危機管理に更新するための防災訓練

発寒東小学校

教職員の人数・構成、児童数や配慮の必要な児童の状況、校舎や近隣地域の環境や状況など、危機管理を行う上で考慮しなければならない状況はその年によって変化している。児童や教職員が、迅速かつ確実に動くことができるようにするだけでなく、従来の避難方法の意味や方法が、現在の状況にマッチしたものとなっているか、訓練を通して検証し、更新を行う。

1 ねらい

- ・ 危機管理意識の維持、向上。
- ・ 危機管理体制の確立、確認、改善。
[組織、教職員の役割・動き、児童の動き、校舎・施設・設備等の環境、他校や関係機関との連携]

2 想定する災害等

(1) 災害の種類

- ・ 火災(夏・冬)、風水害、地震、不審者侵入

(2) 発生時間

- ・ 授業中、休み時間、下校時等

(3) 発生場所

- ・ 火災…電気室、家庭科室等
- ・ 不審者…1階玄関

3 訓練実施のポイント

- (1) 発達段階や教室配置を考慮し、経路や出口、順番などが適切か検証する。
- (2) 校舎の状況から設備が正常に働くか、動線の確保など環境が整備されているか確認する。
- (3) 季節に合わせた避難の優先順位が適切か検証する。
- (4) その年の教職員の人数や構成等から、役割分担・動きが適切か検証する。
- (5) 外部との連携・連絡が適切に行われるか検証する。

⇒ 訓練実施要領、危機管理マニュアルへ反映、更新

4 児童に指導する内容

- ・ 訓練のねらいと災害の想定に合わせた優先事項(発生場所、季節、不審者から身を守る行動など)。
- ・ 避難の方法や経路。
- ・ 災害に備えた日常の行動や生活の仕方(服装や持ち物、施錠の徹底、教室環境の確認と整備)。

5 教職員の動き

- ・ 児童の安全確保に向けた指導、誘導。
- ・ 教職員同士の連絡、連携。
- ・ 確実な点呼、児童掌握。
- ・ 実践の中から改善点を見付ける。

6 その他

・ みらいスクールステーションの活用

「みらいスクールステーション」をさらに有効活用するために、それまで放送室に設置されていた操作用PCを職員室に配置を変更した。これにより、職員室からすぐに全教室のテレビに一斉にメッセージを配信できるようになった。音声での放送と併せて配信することで、聞き逃しを防いだり、視覚的支援が必要な児童にも対応できるようにしたりしている。また、不審者侵入時などは、音声放送により不審者を刺激することを避け、全校に注意喚起をすることが可能となった。



・ GoogleForm や GoogleMeet を使った事後指導、振り返り

感染症対策として、全校が一か所に集まる時間を極力短くしつつ、児童自身が訓練で学んだことを確かめられるように、GoogleForm を使って振り返りを行った。結果がすぐに集計できるので、訓練のねらいや重点について児童が理解しているかを見取り、それを訓練方法や事前・事後指導の改善に生かすことができた。

また、全校一斉に訓練の評価や事後指導を行う時には、GoogleMeet を使った。さらに、不審者侵入時対応訓練では、教職員が対応している様子を生配信した。児童も緊張感をもって訓練に参加したことで、身を守る行動の仕方の重要性を理解していた。また、日常からの施錠の意味や大切な



どを伝えたことで、自分たちの生活の仕方を見直すきっかけとなった。

7 各訓練での重点や検証のポイント等

(1) 年度初めの火災を想定した訓練

- ・ 児童 … 新しい教室からの避難経路・出口の確認。煙対策の持ち物や身の守り方の確認。
- ・ 教職員 … その年度での自分の役割や基本的な動き、機器の操作方法、全校への避難指示の伝達方法を確認し、検証する。

(2) 風水害を想定した一斉下校訓練

- ・ 児童 … 方面別の集合や下校までの流れ、引率担当者の確認。
- ・ 教職員 … 抜け落ちのない児童の確認（名簿の作成・確認など）や引率方法、下校ルート、引率終了ポイント等の確認、検証。



(3) 地震を想定した訓練

- ・ 児童 … 火災の時との違いや、火災も起きた時にどうしたらよいかを確認。頭を守る行動や身なりの確認。
- ・ 教職員 … 避難口を確保する行動（窓や扉を開ける）、ガラスの飛散や落下物から児童を守る方法等の確認、検証。

(4) 不審者侵入時対応訓練

- ・ 児童 … 自分や仲間の存在を悟られない行動や不審者を刺激しない行動、教室の扉を施錠する等の安全確保の仕方を確認。日常の施錠の意味や大切さから、学校生活だけでなく日ごろからの防犯意識を高める。
- ・ 教職員 … 基本的な教職員の動きを確認しつつ、不規則な不審者の動きを想定した、臨機応変に対応するための優先順位を確認。警察等の専門的な関係機関からの助言を求めての検証。

(5) 大規模災害や凶悪犯罪発生などの事態を想定した児童引き渡し訓練

- ・ 児童 … 迎えが来るまで、迎えがない場合、保護者ではない人が迎えに来た場合など、どのように動いたらよいかの確認。
- ・ 教職員 … 安全・確実に児童を引き渡せるよう来校者への対応の仕方や入校者の動線等を確認・検証。
- ・ 保護者 … 引取りまでの連絡方法や入校の方法、引取りできない時の対応の仕方などを確認。

(6) 冬季の火災を想定した訓練

- ・ 児童 … 冬季避難経路の確認（隣接する中学校への避難）。冬の寒さに対応する服装などの確認。
- ・ 教職員 … 夏季との違い、中学校までの避難方法の確認、検証。すぐに避難できるよう、教室に防寒具を常備しているか確認。



8 今後の工夫・改善について

- ・ 積極的な外部・関係機関との連携・活用。
- ・ より実効性を高める実際を想定した条件の設定。
- ・ 従来の考え方が、現状に沿ったものかの再検証（グラウンドへの避難など）。
- ・ 他校等で実際に起きた事態を参考にした避難方法の検証。

